

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
卒業制作											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	高橋、神山、田中、北川、山瀧、植田、矢野			実務 経験	有	職種	放送業務				
授業概要											
2年間の集大成として、映像作品の制作を行います。											
到達目標											
各コースに分かれて、専門スキルを磨く。社会に出た時の対応力、思慮など実践の場で専門スキルや感性を身につける。2年間の集大成の卒業制作を通じて、今までに学んだ知識を応用して作品を制作する。実習中心になるので、撮影に臨むうえでの心構え（遅刻・欠席・機材管理・スタッフワーク、報・連・相を徹底する）を学び、理解する。											
授業方法											
個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。就活を視野にいれつつ、卒業制作の班を決める際は、撮影スケジュールを入念に把握しておくようにしてください。											
成績評価方法											
授業内容の理解度を確認するためにレポート提出を実施する。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。学期末に試験を実施。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	スケジュール管理の徹底実習授業で学ばなければならない事を理解する										
第2回	中継番組を制作するにあたり守らなければならない基本を知る中継で伝える事は何かを学ぶ連絡系統、時間、進行状況の把握										
第3回	中継番組撮影中継番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する										

第4回	卒業制作の班行動作業工程の理解、報告の重要性、意思の疎通
第5回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第6回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第7回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第8回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第9回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第10回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第11回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第12回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第13回	番組撮影番組制作の本番に臨み、勉強の成果を発揮する
第14回	コース実習2年間の総復習
第15回	コース実習2年間の総復習